



発行者

島根県健康福祉部

医療政策課医師確保対策室

今回の紙面

地域医療最前線 NO.43 《石黒眞吾 院長》
研修医のページ NO.26 《小山あゆみ先生》
しまね地域医療支援センター

看護師さんのページ NO.23 《秦美恵子さん》
中・高校生への働きかけ
精神科医ネットワーク



NO.43

国立病院機構浜田医療センター

院長 石黒 眞吾



浜田医療センターは島根県西部（石見）のほぼ中央に位置しており、松江市から車で2時間半、広島市へは浜田自動車道を使って1時間半でアクセスできます。

当院は平成21年11月1日、行政機関ならびに市民の支援によりJR浜田駅の北側に新築移転しました。新たに健診センターを併設し、医療機器を備え病院機能を一新してスタートいたしました。浜田駅とは病院2階が回廊でつながり、患者さんのもとよりJRを利用して当院を訪れる方、特に大学からの非常勤医師には大変好評です。

浜田医療センターは主に急性期病院として、標榜診療科27、病床数365床、職員数560名が従事しています。医療圏としましては浜田市、江津市を中心に邑智郡の一部を含めた約9万人

の住民の医療を担っています。石見地方での唯一の救命救急センターであり、10床の救急専用病床を有しています。脳卒中、急性心筋梗塞に対する心臓カテーテル治療や急性大動脈解離といった循環器系の緊急疾患にも対応しています。また、地域医療支援病院、がん診療連携拠点病院の指定を受けており、PET・CTを導入し、CT2台、MRI2台、緩和ケア病棟も備えるなど、がん診療が一段と充実しました。分娩件数は産科医3名体制で昨年520例まで達しましたが、島根県西部における産科医療体制は不安定であり、本年5月より里帰り分娩の中止を余儀なくされました。現在、当院では常勤医師は45名ですが常勤医が不在の診療科があり、今後医師をはじめとして医療従事者の確保が課題であります。幸いにも優秀な研修医が集っています。現在2学年で基幹型、大学とのたすき掛け方式を合わせて7名が当院で初期臨床研修を行い、救急外来でも活躍してくれています。

当院では医師、看護師の負担軽減を目的に医師事務作業補助者（医療クラーク）を、医師1.5人に1人の割合で採用し、また看護クラークも病棟ごとに1人を配置することにより、医師、看護師が本来の業務に専念できるように

なりました。また、本年7月より院外電子カルテシステムを導入し、希望する医師に端末を配布しました。自宅あるいは外出先でもカルテを閲覧し、オーダーができるものです。

病院全体の取り組みとしては病院機能の充実をはかるためチーム医療に力を注いでいます。数少ない医師のみに頼るのではなく、多職種からなる医療チームで患者さん一人一人を看ていき各チームで補完しあえるようなシステム作りをしています。チームの中心は現在12名の認定看護師です。当院では医師、看護師のキャリアアップのための優遇制度や、人材育成に積極的に取り組んでいます。これは若い医師、看護師が集まる病院として必要と思っています。

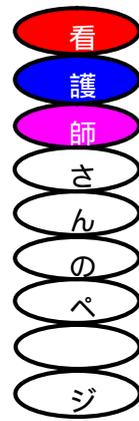
「心のこもった、情のある医療」、浜田医療センターの理念です。この理念をもって地域の方々に親しまれる病院にしてい

ます。



きたいと思います。同時に、島根県西部の中核病院としてより高度な医療を提供する病院、職員が誇りを持てる病院を目指します。

浜田医療センターは若い皆さんをお待ちしています。



NO.23

島根大学医学部附属病院

看護部長 秦 美恵子

当院は昭和54年10月に島根医科大学附属病院として開院以来、



32年が経ちました。施設の老朽化に伴い『地域医療と先進医療が調和する大病院』の理念のもと、当院の役割・機能の拡充のため、平成20年度から病院再開発事業に着工し、平成25年3月に完了予定です。今年6月には一つの区切りである新病棟(増設)が完成し、稼働を始めました。病院再開発の基本理念は、病院機能の強化・教育研究環境の充実・良質なア

メニテイの提供・効果的な病院経営の4つです。新病棟は機能別・重症度別診療体制、既存の病棟は臓器別フロアとして診療体制を整えチーム医療を展開していきます。

病床管理も、これまでの病棟単位から病院全体を統括したベッドコントロールシステムへと大きく変わりました。この中心となっているのは看護師長たちです。朝・夕のミーティングを通して、患者さんの状況やニーズを大切にしながら、入院の受け入れやベッド移動を行っています。

大病院は教育・診療・研究の三つの使命があります。看護部においても、教育・人材育成は重点課題であり、平成22年度から教育専任のスタッフを4名(看護師長・副看護師長)配置して、教育体制の強化を図っています。折しも同年4月から「保健師助産師看護師法」及び「看護師等の人材確保の促進に関する法律」の改正により新人看護師の卒後臨床研修が努力義務化となりました。集合教育と現場教育の連続性、コミュニケーション教育による確実な技術の習得、他職種合同の研修や院内ローテーション研修等学内の施設設備と人材を活用しながら、対象者のニーズにあった教育支援を行っています。さらに、島根県の地域医療再生計画事

業の一環として、近隣施設から新人看護職員の受入れも行っています。

また当院では、ワークライフバランス支援室を中心に、誰にも働きやすい病院を目指しています。中でも看護部は女性職員が多く、年齢構成では、約500名のうち二十代が半数、三十代が2割と、以前に比して少しずつ若手職員が増えてきました。院内保育所・病児病後児保育等の育児支援はもとより、生活のメリハリをつけやすい二交代制勤務を今年6月から本格的に導入しました。時を同じくし、医療行政と労働行政が協働・連携するよう、厚生労働省内の5局長連名による「看護師等の『雇用の質』の向上のための取組みについて」という通知が出されました。これからも今できる最善を皆で話し合い、選択しながら進めて行きたい



新人看護職員リフレッシュ宿泊研修

と思います。看護部理念『地域から信頼される質の高い看護を提供します』



NO.26

松江赤十字病院

1年目初期研修医

小山 あゆみ

初期臨床研修を始め、5カ月が経とうとしています。最初は戸惑うことや失敗ばかりでしたが、指導



導医の先生を始め、コメディカルスタッフの方々、また2年目研修医の先生方の時に厳しくも温かいご指導のもと、少しずつではありますが成長を実感してきております。また10名の同期に恵まれ、お互いに良い刺激をあたえつつ励ましあえる環境に感謝しています。当院は島根県東部の中核医療機関として、一般医療、救急医療、高度医療を行っています。そのためcommonから重症疾患まで幅広く出会うことができ



ます。研修医はローテートしている科の病棟業務に加え、救急外来での平日当

直、休日の日当直があります。救急外来では、最初に私たち研修医が対応します。もちろん上級医のバックアップはありますが、病歴聴取から必要な検査オーダーまである程度は自分で行うので、自分たちが微力ではありますが戦力になっていくことを実感できます。病棟では、指導医の熱心な指導のもと多くの手技を自ら経験し、治療方針の検討や退院後のフォローなど日々多くのことを考え経験しています。

また毎週2回、研修医カンファレンスを行っています。これは研修医が順番で自分たちが経験した症例を発表しあい情報を共有するもので、より多くの症例に出会うことができます。その他週1回、薬理の勉強会や英語論文の抄読会も行っています。また夜間や休日にも超音波検査や血管ルートの採り方等の指導を受けることができ、病院全体で研修医を育てようという気持ちで伝わってきます。

当院の研修プログラムは柔軟性があり、将来進む科が決まっている人でもそうでない人でも、本人にとって一番

いい研修プログラムを作ることが可能です。自分の努力次第でいくらでも良い研修にしていける恵まれた環境であることは間違いありません。

山陰で研修を行う研修医が増えてきてはいますが、まだまだ医師不足の状況が続いています。私も一日も早く地域医療に貢献できるよう日々精進していきたくと考えております。同じように山陰の地域医療に貢献したいと考えている後輩の皆さんを心からお待ちしています。今後とも皆様の御指導よろしくお願い致します。

中・高校生への働きかけ

将来の島根の医療を支える人材を育成するため、医師・医療従事者や地域医療への興味関心を高め、職業や進路選択の参考となるよう、県内の学校や医療機関の協力のもと、中・高校生を対象に、各種の医療現場体験セミナーを実施しています。その



講師の説明を熱心に聞く高校生

取り組みの一つ、県教育委員会と共催で実施した『夢実現進学チャレンジセミナー』において島根大学医学部附属病院での実習でお手伝いいただいた医学生から、元気の出るコメントが届きましたのでご紹介します。

夢実現進学チャレンジ
セミナーに参加して

島根大学医学部医学科

5 回生 森山 あいさ

8月5日に、島根県内の高校2年生を対象とした夢実現進学チャレンジセミナーが島根大学医学部附属病院で開催され、私は、医療現場体験をする高校生の皆さんの案内役として参加させていただきました。

この医療現場体験では、附属病院の先生方によるお話に始まり、10名程度のグループ4班に分かれ、採血実習、救急蘇生実習、病理部見学、リハビリテーション部見学、手術部見学等の実習を行いました。

今回は対象が理系の学生さんということでしたので、参加された高校生の皆さんの進路が必ずしも医療系であるとは限りませんが、この日1日のあい

だ、自分の大きな夢にひたむきな高校生の皆さんと過ごすことができ、私自身、自分の夢に対する想いを新たにすることができました。また、高校生の皆さんを引率された先生方ともお話しすることにより、私も様々な方に助けられ島根大学に入学することができ、そして今、医療の勉強をすることができるといふことを改めて思い出す良い機会となりました。

また、私にとってもう一つ刺激となったのが、島根県の医療政策課の方とお話しする機会があったことです。医師不足の叫ばれている島根県で、医師の確保にこれだけの皆さんが日々尽力されているということを目の当たりにするとともに、島根県のために自分ができることは何か、ということ、改めて考えさせられました。

幼少期から現在まで、私を育ててくれた島根県と島根県の皆さんに将来恩返しすることができるように、今後も精進していきたくと思います。今回様々なことを思い起こしたり考えたりする素晴らしい機会を与えていただいたことに、

心から感謝しています。本当にありがとうございます。



しまね地域医療支援センター いよいよ開設

島根県内で働く研修医や若手医師のキャリア形成等を支援する「しまね地域医療支援センター」が、国の支援を受けて、島根大学医学部と県医療政策課に設置され、8月23日に開所式が行われました。



医学部副学部長(写真左)と島根県健康福祉部長(写真右)による開所式の様子

同センターでは、島根大学医学部を卒業された医師はもとより、全国の若手医師やU・イターンを希望する医師などを対象に、行政や大学、医療機関、医師会などとしつかり連携をとり、島根でやりがいを持って、キャリアアップ、スキルアップできるように、きめ細やかなサポートを行うこととしています。

今後、県の奨学金の貸与を受けられた医師や地域枠の卒業医師などの若手

医師が、県内に軸足を置きながら、大学、大規模病院、地域の病院、県外等の病院などを組み合わせ、専門医等の資格が取得できるような本人の希望を聞きながらキャリアアッププログラムを作成します。

しまね地域医療支援センターは、ここ島根において、やりがいと愛着を感じ、安心して勤務・生活していただけるよう取り組んでまいりますので、ご支援のほどよろしくお願ひします。

【医療政策課 奥原】

島根県精神科医キャリアアップ ネットワークの始動

島根県では、若手の先生方が島根県に軸足を置いて、専門医等の資格取得ができるよう、しまね地域医療支援センターと連携して、診療科ごとのネットワーク構築に向けて取り組んでいきます。

平成21年9月の外科ネットワーク、今年6月の総合医・家庭医育成ネットワークに続き、この度、精神科医キャリアアップネットワークが立ち上がりました。

精神科医キャリアアップネットワークは、島根大学、



県内の精神科医療機関が連携して、精神科の先生方や精神科医を目指す先生方の教育・キャリア形成等を支援し、県内の精神科医療提供体制の充実を図ることを目的としています。

具体的には、個々の先生方のニーズに沿う形で、県内の各精神科医療機関の特徴を活かしながら、複数の医療機関で研鑽を積み、精神保健指定医、精神科専門医、各種サブスペシャリティ、あるいは学位の取得などの研修をコーディネートするほか、県外の先生方のU・イターン支援にも取り組みます。

幸いにも、島根県では、精神科医懇話会が定期的開催されており、今後は、ネットワーク世話人会の先生方を中心に具体的な事業の計画を立て、精神科医懇話会の先生方のご意見をいただきながら、情報を発信していくこととしていきます。

なお、ネットワークの事務局は、島根健康福祉部医療政策課医師確保対策室が務めさせていただきます。

精神科の先生や精神科医を目指す先生方にとって、魅力があり、実りある事業を行っていきたくと考えておりますので、よろしくお願ひします。

【島根県精神科医キャリアアップネットワーク事務局 岩田】

島根県で勤務していただける方を紹介してください

友人・知人等に島根県での勤務を希望される医師がおられましたら、是非ご紹介ください。ご紹介いただいた医師へは、医療機関の情報等を提供し、県内での勤務を支援します。

医師募集・地域医療ツアー参加者募集

島根県は県内で勤務いただける医師を求めています。全国どこへでも専任の医師が出張し、具体的な相談に応じます。また、地域医療の視察ツアーを実施しています。旅費は県が負担します。お気軽にお問い合わせください。

「赤ひげバンク」の登録者のみなさんへ

住所等に変更があった場合は、メールでお知らせ願ひします。

携帯からの問い合わせはこちら

〒690-8501 松江市殿町1番地 島根県健康福祉部 医療政策課 医師確保対策室

TEL 0852-22-6683 FAX 0852-22-6040

E-Mail iryu@pref.shimane.lg.jp

ホームページ：

島根の医師確保対策

検索

